

# 木津川市行財政改革行動計画進行管理表（平成23年10月末現在進捗状況）

(1)協働による「共生の市政」の推進

改革項目	実施内容	担当課	前年度評価区分	進行管理(効果見込額 単位:千円)					計画期間中(H20~24)の財政効果見込額 平成20~22年度の財政効果合算額	平成23年度取組方針 (公表済事項)	平成23年度現時点の 実施済状況	平成23年度中の 今後の取組予定
				20年度	21年度	22年度	23年度	24年度				
1 NPO等市民活動の支援	① 市ホームページ上で検索できるシステムの構築  H20.4.1現在 NPO法人数12団体 H21.4.1現在 NPO法人数14団体 H22.4.1現在 NPO法人数16団体 H23.4.1現在 NPO法人数17団体	学研企画課	行動計画	調査・研究	→	実施	/	/				
				調査・研究	→	実施	/	/				
2 自主防災組織の育成支援	① 自主防災組織等活動助成制度の充実  H20 組織数19団体(組織率43%) H21 組織数21団体(組織率58%) H22 組織数25団体(組織率65%) H23 組織数25団体(組織率70%)	危機管理室	行動計画	継続実施	⇒	⇒	⇒	⇒		加茂町兎並地区や州見台地区からの自主防災組織についての相談があり、組織立ち上げに関する支援等を行う。 引き続き、市内の自主防災会活動が充実するように支援していく。	州見台地区代表者に対する自主防災組織の立ち上げに向けた支援(相談・資料提供等)を行った。 また、各自主防災組織に対し、活動の支援を行った。	引き続き、加茂町駅東地区・州見台地区への支援を実施する。 転入等による新しい住民の方に対し、自治会への加入を勧め、地域の防災力を上げるように啓発を行う。
				継続実施	⇒	⇒						
				② 防災リーダー養成講座や研修会への参加案内	危機管理室	行動計画	継続実施	⇒	⇒			
③ 木津川市自主防災会全体会議の開催	危機管理室	行動計画	継続実施	⇒	⇒	⇒	⇒		平成23年度においても自主防災連絡会を開催し、事務連絡と研修等を実施する。	平成23年7月13日に自主防災連絡会を開催し、気象と災害についての研修会を実施した。	引き続き、各自主防災組織の実情に応じた活動支援を継続する。	
			継続実施	⇒	⇒							
3 市民提案型助成制度の創設	① 市民提案型助成制度の創設	学研企画課(関係課)	行動計画	調査・研究	→	→	段階実施	⇒		引き続き、先進事例を調査するとともに、京都府地域力再生プロジェクト事業交付金及び地域活動支援交付金との役割分担についても検討を進める。	京都府地域力再生プロジェクト事業をPR・活用している。	引き続き先進事例を調査するとともに、京都府地域力再生プロジェクト事業交付金を活用する。
				調査・研究	→	→						
4 市民参加の「ガイドライン」の策定	① 市民参加の「ガイドライン」の研究	学研企画課(関係課)	行動計画	調査・研究	→	→	素案検討	→		引き続き、先進事例の調査・研究を進める。	引き続き、先進事例の調査・研究を進めた。	引き続き、先進事例の調査・研究を進める。
				調査・研究	→	→	→	→				
	② 「市民参加条例」の検討	学研企画課	行動計画	調査・研究	→	→	素案検討	→		引き続き、先進事例の調査・研究を進める。	引き続き、先進事例の調査・研究を進めた。	引き続き、先進事例の調査・研究を進める。
				調査・研究	→	→	→	→				
5 コミュニティ施策の検討	① コミュニティ施策の推進	関係課(総務課)	行動計画	調査・研究	実施	⇒	⇒	⇒		引き続き、地域長会議を開催し、地域コミュニティ組織の活性化、新たな設置に向けた情報提供や支援を継続する。	平成23年度第1回地域長会議を平成23年5月17日に開催し、地域コミュニティに関する施策等の説明を行った。	平成23年度第2回地域長会議を平成23年11月9日に開催し、地域コミュニティに関する施策等の説明を行うとともに、新たにブロック会議等の開催に取り組む。
				調査・研究	実施	⇒						
	② 行政地域制度の創設	総務課	行動計画	調査・研究	実施	/	/	/				
				調査・研究	実施	/	/	/				
6 ごみゼロ運動の推進	① 3R活動を通じたごみゼロ運動(ごみの減量化)の推進  H19 市民1人当たり平均排出量 可燃物162kg、不燃物42kg、粗大10kg H20 市民1人当たり平均排出量 可燃物161kg、不燃物41kg、粗大9kg H21 市民1人当たり平均排出量 可燃物161kg、不燃物40kg、粗大9kg H22 市民1人当たり平均排出量 可燃物157kg、不燃物41kg、粗大9kg	まち美化推進課	行動計画	継続実施	⇒	⇒	⇒	⇒		引き続き、ごみ減量化の基本概念3Rの啓発を行うとともに、廃棄物減量等推進員の会など関係団体と協働でごみ減量化の推進につながる各種イベントや講習会の開催、また、随時、広報等による啓発を行っていく。	イオン高の原ショッピングセンターで(株)花王のイベントに協賛し、6月22日から30日までの期間に、市が取り組むごみ減量の方法等についてのPRを行った。 エコリーダー「くるっと」との協働で、布ぞうり作り講習会やエコ手芸教室といったイベントや、多くの市民が参加するフリーマーケットを開催し、市内各所での啓発活動を実施した。	引き続き、広報等による啓発活動等を行う。
				継続実施	⇒	⇒						

# 木津川市行財政改革行動計画進行管理表（平成23年10月末現在進捗状況）

(1)協働による「共生の市政」の推進

改革項目	実施内容	担当課	前年度評価区分	進行管理(効果見込額 単位:千円)					計画期間中(H20~24)の財政効果見込額	平成23年度取組方針(公表事項)	平成23年度現時点の実施状況	平成23年度中の今後の取組予定
				20年度	21年度	22年度	23年度	24年度				
7 人材バンク制度の導入	① 人材リスト登録事業の実施 H20.4.1 人材リスト登録者数 51人 H21.4.1 人材リスト登録者数 59人 H22.4.1 人材リスト登録者数 67人 H23.4.1 人材リスト登録者数 71人	人権推進課	行動計画	継続実施	⇒	⇒	⇒	⇒	引き続き、市の審議会等委員の男女構成比の均等確保をはじめ、各種講座等の講師選定その他男女共同参画社会を推進するために、前年度登録実績数の1割増を目指す。また、人材リスト登録管理台帳の整理を行う。	人材リスト登録者1割増を目標に市ホームページ及び広報6月号にて募集を行った。また、庁内全部署に登録者情報を提供し、活用の推進を図っている。	引き続き、審議会等委員の男女構成比の均等確保をはじめ、各種講座等の講師選定、その他男女共同参画社会実現に向け、前年度登録実績数の1割増加を目指す。また、人材リスト登録管理台帳の整理を行う。	
				継続実施	⇒	⇒						
8 パブリック・インボリューションの導入	① パブリック・インボリューションの実施	関係課	行動計画	継続実施	⇒	⇒	⇒	⇒				
9 アダプトプログラムの導入	① アダプトプログラムの実施 H19 登録実績 28団体 697人 H20 登録実績 31団体 936人 H21 登録実績 36団体 1,029人 H22 登録実績 39団体 1,057人	関係課(まち美化推進課)	行動計画	継続実施	⇒	⇒	⇒	⇒	引き続き、制度の啓発及び登録団体の拡大に努める。	継続	継続	
				継続実施	⇒	⇒						
10 審議会・協議会の活性化	① 公募等の指針の策定	人事秘書課	行動計画	調査・研究	→	実施	/	/				
				未実施	調査・研究	実施	/	/				
	② 審議会等の運営方針の策定	関係課(人事秘書課)	行動計画	継続実施	⇒	⇒	/	/				
				継続実施	⇒	本格実施	/	/				
11 意見提出制度の導入	① 意見提出制度の実施(パブリックコメント) H19 パブリックコメント 5件 H20 パブリックコメント 5件 H21 パブリックコメント 4件 H22 パブリックコメント 3件	学研企画課(関係課)	行動計画	継続実施	⇒	⇒	⇒	⇒	引き続き、政策会議の提案決裁等により、パブリックコメントの実施の必要性をチェックしていく。	下記の3件について、パブリックコメントを実施した。 【実施案件】 ・木津川市水道ビジョン ・木津川市待機児童の解消対策ガイドライン ・木津川市学研木津北・東地区土地利用計画	引き続き、木津川市パブリックコメント手続条例の規定に基づき、適切に実施する。	
				継続実施	⇒	⇒						
12 ホームページの拡充等による情報提供の推進	① 職員講習会・説明会の実施 目標(毎年1回開催)	学研企画課(全課)	行動計画	実施	調査研究	実施	⇒	⇒	平成23年度中にホームページリニューアルを実施していくために、新しいホームページの設定、システム業者の選定、情報の載せ換え等の事務を順次行う。	ホームページリニューアルに向けて、プロポーザル方式により、CMS等の業者を選定を行い、業者を決定した。現在、リニューアルの内容・データ移行等について協議中である。	平成23年度末のホームページリニューアルの公開予定に向けて、職員講習会等を実施する。	
				未実施	調査研究	→	実施	⇒				
	② 情報バリアフリーの推進	学研企画課(全課)	行動計画	調査・研究	→	実施	⇒	⇒	ホームページリニューアルの際に、情報バリアフリーも考慮したホームページにしていく。	ホームページのアクセシビリティに配慮したCMSの導入に向けて準備中である。	アクセシビリティのチェック機能を持つシステムを導入することにより、新JIS規格対応のホームページにリニューアルすることで、情報バリアフリー化を推進する。	
				調査・研究	→	→	実施	⇒				
13 広報を「お知らせ型」から「問題提起型」「提案型」に拡充	① 職員向け講習会の実施 目標(毎年1回開催)	学研企画課(全課)	行動計画	調査・研究	→	段階実施	⇒	⇒	職員向け講習会の実施等の広報記事充実のための取組みを、ホームページの研修に併せて実施する。		広報11月号紙面で行う「広報紙に関するアンケート調査」の結果を職員に提供していくなど、読者ニーズを意識した記事作成に向けて取り組みを行っていく。	
				調査・研究	→	段階実施						
14 イベントの整理統合と民営化	① イベントの整理統合と民営化(商工会等による旧町秋祭りの開催)	関係課(観光商工課)	行動計画	実施 3,500	⇒ 3,500	⇒ 3,500	⇒ 3,500	⇒ 3,500	歳出17,500千円減	継続	継続	
				実施 3,377	⇒ 3,377	⇒ 3,377						歳出10,131千円減
15 大学等との連携の強化	① 大学との連携	学研企画課(関係課)	行動計画	調査・研究	→	段階実施	⇒	⇒	「赤ちゃんフォーラム」を継続実施するとともに、引き続き、各種連携希望事業の掘り起こし・マッチングを進める。また、京都府立大学公共政策学部のインターンシップを受け入れる。(総合計画及び行財政改革部門)	「赤ちゃんフォーラム」を実施した。京都府立大学公共政策学部からインターンシップ3名の受け入れ、及び京都大学大学院地球環境学堂からインターンシップ1名の受け入れを行った。	各種連携希望事業の掘り起こしやマッチングを進める。	
				調査	段階実施	⇒						

# 木津川市行財政改革行動計画進行管理表（平成23年10月末現在進捗状況）

(1)協働による「共生の市政」の推進

改革項目	実施内容	担当課	前年度評価区分	進行管理(効果見込額 単位:千円)					計画期間中(H20~24)の財政効果見込額 平成20~22年度の財政効果合算額	平成23年度取組方針 (公表済事項)	平成23年度現時点の 実施済状況	平成23年度中の 今後の取組予定
				20年度	21年度	22年度	23年度	24年度				
16 タウンミーティング やワークショップ の実施・拡大	① タウンミーティングの実施	学研企画課 (全課)	行動計画	継続 実施	⇒	⇒	⇒	⇒	引き続き、必要に応じて、ワークショップやタウンミーティングを実施する。		必要に応じて、タウンミーティングを実施する。	
				継続 実施	⇒	⇒						
	② ワークショップの実施	関係課 (建設課)	行動計画	継続 実施	⇒	⇒	⇒	⇒	引き続き、必要に応じて、ワークショップやタウンミーティングを実施する。	住民、京都府及び木津川市で、工事実施に向けた協議(1回)を行った。	今後も、住民、京都府及び木津川市で、工事実施に向けた協議を行う予定である。	
				継続 実施	⇒	⇒						
17 財務書類の公表	① 財務書類(4表)の公表	財政課	行動計画	調査 ・研究	実施	⇒	⇒	⇒	今後も継続して取り組む。		平成22年度決算を受け、普通会計、特別会計及び一部事務組合等を含めた連結した財務諸表を作成して公表する。	
				調査 ・研究	実施	⇒						
18 予算、決算等財 政状況の公表	① 予算、決算等財政状況の公表(6月、12月)	財政課	行動計画	実施	⇒	⇒	⇒	⇒	今後も継続して取り組む。	平成23年6月10日に公表済(平成23年3月31日現在の木津川市財政状況)である。また、「平成23年度木津川市予算のあらまし」を発刊した。	平成23年12月に公表予定(平成23年9月30日現在の財政状況)である。また、同月に「平成22年度木津川市決算のあらまし」を発刊する予定である。	
				実施	⇒	⇒						